

## E BMの手法で診療ガイドラインを作るための勉強会

### E BM勉強会

E BM ( ; Evidence Based Medicine) の手法で外来小児科の診療ガイドラインを作るための勉強会です。2002年7月27日の第22回をもって、勉強会は終了し、[「診療ガイドライン作成検討会」](#)に移項しました。

---

### 勉強会の記録

設立 2000年10月21日  
第1回勉強会 2000年10月21日  
第22回勉強会 2002年7月27日 (最終回)

### 会の目的

学会員がE BMの手法を実地の小児の外来診療に活かす  
会員の診療行動にインパクトを与えることを期待して  
日本外来小児科学会として、小児の外来診療のガイドラインを作成する

### 会の予定

最初の半年は、E BMの基本的手法の学習会を行った。  
その後、既存のE BM、メタアナリシスやガイドラインの作成作業過程を手本に演習をする  
半年後に、E BMの手法で診療ガイドライン作成班に改変する 2003年夏までに、少なくとも一つのガイドラインを勧告する

### 学習方法

実習形式  
ワークショップ形式  
参加者が演習作業結果を発表する  
参加者が勉強会のチューターになる  
後の回の勉強会で前の回のわからない所を自由に質問できます  
必要により非会員の指導者を招くことがあります

### 開催広報

日本外来小児科学会誌、学会 News Letter、  
学会HP [http://plaza4.mbn.or.jp/~shimada\\_chc/gairaikaiin-index.html](http://plaza4.mbn.or.jp/~shimada_chc/gairaikaiin-index.html)、  
東日本外来小児科研究会広報、  
小児科フリートキング・メーリング・リスト ped-ft、など

### 全体の学習内容

E BM関連参考書 (CD-ROM を含む) および web site  
臨床上の疑問の解決法と情報収集法  
臨床上の疑問の掘り出し  
臨床上の疑問の明文化の方法  
患者にとって有用な診療結果の設定  
組織的な文献検索法  
電話回線による検索  
文献の批判的吟味のやり方

エビデンスの強さの評価  
無作為対照試験  
意図した通りの治療に基づく解析  
メタアナリシスのやり方  
E BMの手法を用いたガイドライン作成方法  
既成のE BM作業結果・メタアナリシス・ガイドラインの検索法  
コクラン共同計画  
エビデンスを目前の患者へ適用する方法  
E BMと医師の診療行動の変容  
エビデンスの患者への説明の仕方  
E BMと患者の自己決定  
エビデンスの強さと裁量  
個別の医師や個別の医療機関の診療結果のエビデンス  
特定の患者のエビデンス (n of 1 trial)  
E BM、ガイドラインの功罪  
など

#### 会の性格

日本外来小児科学会の[質の向上委員会](#)の下部組織

#### 勉強会の内容

##### 第1回 外来小児科E BM勉強会

E BM ( ; Evidence Based Medicine) の手法で外来小児科の診療ガイドラインを作るための勉強会です。

〔開催日時〕

2000年10月21日(土) 午後5時～8時

〔今回の学習内容〕

- 1 a これから3年の会の予定
- b 会の進め方についての参加者からの意見聴取
- 2 臨床での疑問の解決手法と情報収集法についての討議
- 3 a E BMの歴史と概念
- b E BMはどう使われているか
- c E BMの各ステップの概要
- 4 参考書(ないし CD-ROM) や参考 Web site
- 5 臨床上の疑問の掘り出し
- 6 臨床上の疑問の明文化

##### 第2回 外来小児科E BM勉強会

〔開催日時〕

2000年11月25日(土) 午後5時～8時

〔今回の学習内容〕

1. 参考書(ないし CD-ROM) や参考 Web site (資料提示)

2. 臨床上の疑問の明文化（演習）
3. 患者にとって有用な結果の設定（演習）
4. 組織的な文献検索法の概説

### 第3回 外来小児科EBM勉強会

〔開催日時〕

2000年12月16日（土）午後5時～8時

〔今回の学習内容〕

組織的な文献検索法の演習

1 Medline（PaperChase経由のオンライン検索）

思いついた単語での検索

MeSHによる検索

絞り込み検索

2 PubMed（オンライン検索）

3 Cochrane Library（CD-ROM検索）

### 第4回 外来小児科EBM勉強会

〔開催日時〕

2001年1月20日（土）午後5時～8時

〔開催場所〕

社会保険中央総合病院会議室（3階）

東京都新宿区百人町 3-22-1

〔今回の学習内容〕

下記の順に行けるところまで学習します。

該当文献の絞り込み方のまとめ

文献の批判的吟味のやり方

文献の構造

調査研究の計画書およびマニュアル

批判的吟味とは

批判的吟味の具体的な進め方

エビデンスの強さの評価

無作為対照試験

意図した通りの治療に基づく解析

### 第5回 外来小児科EBM勉強会

### 第6回 外来小児科EBM勉強会

〔開催日時〕

2001年3月24日（土）午後5時～8時

〔開催場所〕

社会保険中央総合病院会議室（3階）

東京都新宿区百人町 3-22-1

〔今回の学習内容〕

下記の順に行けるところまで学習します。

- 1 コクラン共同計画
- 2 エビデンスを目前の患者へ適用する方法
- 3 EBMと医師の診療行動の変容
- 4 エビデンスの患者への説明の仕方
- 5 EBMと患者の自己決定
- 6 エビデンスの強さと裁量
- 7 個別の医師や個別の医療機関の診療結果のエビデンス
- 8 特定の患者のエビデンス (n of 1 trial)
- 9 EBM、ガイドラインの功罪

### 第7回 外来小児科EBM勉強会

〔開催日時〕

2001年4月21日(土) 午後5時～8時

〔開催場所〕

社会保険中央総合病院会議室(3階)

東京都新宿区百人町 3-22-1

〔今回の学習内容〕

今回からは、EBMの演習を開始します。

各自のテーマを決める (なるべく勉強会までに決めて下さい)

テーマのPatient、Exposure、Comparity、Outcomeを考える

文献の検索式を考える

文献検索をする

文献リストの作成

文献のオンラインに全文入手、オンライン送付依頼、図書館依頼

### 第8回 外来小児科EBM勉強会

〔開催日時〕

2001年5月12日(土) 午後5時～8時

〔開催場所〕

社会保険中央総合病院会議室(3階)

東京都新宿区百人町 3-22-1

〔今回の学習内容〕

今回からは、座学でなく、EBMの演習を開始します。

.....

文献検索をする

色々なオンライン検索を試みる

テーマ(疑問)のPatient、Exposure、Cointervention、Outcomeをキーワードとして、文献の検

## 索式を考える

文献の絞込み方法を色々と試みる  
最終的に数個の文献に絞る方法

演習を、3グループのどれかに属してやる方法と、独自のテーマでやる方法があります。  
独自のテーマが3グループのどれかと同じでも構いません。

3グループのテーマは、

- 1 下痢のときミルクを薄める必要があるか
- 2 吸入ステロイドで喘息治癒率は向上するか
- 3 溶連菌感染での尿検査の有用性

## 第9回 外来小児科EBM勉強会

〔開催日時〕

2001年6月9日(土) 午後5時～8時

〔開催場所〕

社会保険中央総合病院会議室(3階)

東京都新宿区百人町 3-22-1

〔今回の学習内容〕

前々回からは、座学でなく、EBMの演習を開始しています。

.....

検索式記載

文献リスト

選択文献書誌

文献入手経路

文献の批判的吟味

目的

研究デザイン----無作為割付か

グループ間の同一性

盲検

観察期間

調査研究の場

患者の性格

追跡率

脱落理由

意図した通りの治療に基づく解析がされているか intention to treat analysis

介入内容

対照の介入内容

結果の測定法

コメント

研究結果

臨床効果

correct temporal relationship

dose-response gradient

文献の結論

査読者のリコメンド

新たな研究課題

演習を、3グループのどれかに属してやる方法と、独自のテーマでやる方法があります。

独自のテーマが3グループのどれかと同じでも構いません。

3グループのテーマは以下のごとくで、各グループが批判的抄読のために絞り込んだ論文も併記します。

1 下痢のときミルクを薄める必要があるか

1) Chew F, Penna FJ et al

Is dilution of cow's milk formula necessary for dietary management of acute diarrhea in infants less than 6 months ?

Lancet 1993 Jan. 23:341 (8839) ; 194-19

2) Brown KH, Peerson JM et al (時間があれば読みます)

Use of nonhuman milk in the dietary management of young children with acute diarrhea: a meta-analysis of clinical trials

Pediatrics 1994 Jan; 93 (1) : 17-27

2 吸入ステロイドで喘息治療率は向上するか

1) Van Essen-Zandvliet EE, Hughes MD et al

Remission of childhood asthma after long-term treatment with an inhaled corticosteroid (budesonide) : can it be achieved ?, Dutch CNSLD Study Group

Eur Respir J 1994 Jan; 7 (1) : 63-8

2) Van Essen-Zandvliet EE et al (時間があれば読みます)

Effects of 22 months of treatment with inhaled corticosteroids and/or beta-2-agonists on lung function, airway responsiveness, and symptoms in children with asthma

An Rev Respir Dis 1992; 146: 547-554

3 溶連菌感染での尿検査の有用性

1) Yoshizawa N, Suzuki Y et al

Asymptomatic acute poststreptococcal glomerulonephritis following upper respiratory tract infections caused by Group A streptococci

Clin nephrol 1996 Nov; 46 (5) : 296-301

## 第10回 外来小児科EBM勉強会

〔開催日時〕

2001年7月7日(土) 午後5時～8時

〔開催場所〕

社会保険中央総合病院会議室(3階)

東京都新宿区百人町 3-22-1

〔今回の学習内容〕

前々回からは、座学でなく、E B Mの演習を開始しています。

.....

検索式記載

文献リスト

選択文献書誌

文献入手経路

文献の批判的吟味

目的

研究デザイン----無作為割付か

グループ間の同一性

盲検

観察期間

調査研究の場

患者の性格

追跡率

脱落理由

意図した通りの治療に基づく解析がされているか intention to treat analysis

介入内容

対照の介入内容

結果の測定法

コメント

研究結果

臨床効果

correct temporal relationship

dose-responce gradient

文献の結論

査読者のリコメンド

新たな研究課題

演習を、3グループのどれかに属してやる方法と、独自のテーマでやる方法があります。

独自のテーマが3グループのどれかと同じでも構いません。

3グループのテーマは以下のごとくで、各グループが批判的抄読のために絞り込んだ論文も併記しません。

1 下痢のときミルクを薄める必要があるか

1) Chew F, Penna FJ et al

Is dilution of cow's milk formula necessary for dietary management of acute diarrhea in infants less than 6 months ?

Lancet 1993 Jan. 23:341 (8839) ; 194-19

2) Brown KH, Peerson JM et al (時間があれば読みます)

Use of nonhuman milk in the dietary management of young children with acute diarrhea: a meta-analysis of clinical trials

Pediatrics 1994 Jan; 93 (1) : 17-27

2 吸入ステロイドで喘息治癒率は向上するか

1) Van Essen-Zandvliet EE, Hughes MD et al

Remission of childhood asthma after long-term treatment with an inhaled corticosteroid (budesonide) : can it be achieved ?, Dutch CNSLD Study Group

Eur Respir J 1994 Jan; 7 (1) : 63-8

2) Van Essen-Zandvliet EE et al (時間があれば読みます)

Effects of 22 months of treatment with inhaled corticosteroids and/or beta-2-agonists on lung function, airway responsiveness, and symptoms in children with asthma

An Rev Respir Dis 1992; 146: 547-554

3 溶連菌感染での尿検査の有用性

1) Yoshizawa N, Suzuki Y et al

Asymptomatic acute poststreptococcal glomerulonephritis following upper respiratory tract infections caused by Group A streptococci

Clin nephrol 1996 Nov; 46 (5) : 296-301

## 第 11 回 外来小児科 EBM 勉強会

〔開催日時〕

2001年8月4日(土) 午後5時～8時

## 第 12 回 外来小児科 EBM 勉強会

〔開催日時〕

2001年9月29日(土) 午後5時～8時

〔開催場所〕

社会保険中央総合病院会議室(3階)

東京都新宿区百人町 3-22-1

〔今回の学習内容〕

第7回からは、座学でなく、EBMの演習を開始しています。

.....

今回は以下の手順で、前回からの系統的レビューとメタアナリシスの演習の続きをやります。

・演習テーマ(前回参加者が設定した)

熱性痙攣のあった子に(P)、その後の発熱時に抗痙攣剤を投与することは(E)、投与しない場合に比べて(C)、痙攣の回数や長期予後に好影響を与えるか(O)

・演習内容

テーマのPECOの定義づけ(前回の続き)

テーマに関する臨床研究の検索



論文検索範囲、検索式

テーマに合致する臨床研究の選択

絞込みの手順と基準

PECOのように定式化された疑問の設定があるか

出版バイアスの検討

言語バイアスの検討

各研究の批判的吟味

批判的吟味の方法の明記

内的妥当性（対照との比較の妥当性）

外的妥当性（他の論文との比較の可能性）

患者にとって有用な結果を指標にして比較検討しているか

副作用や費用なども比較検討しているか

データの抽出

データの統合

メタアナリシス

各臨床研究間の結果の均質性

統合に用いる統計的手法

感度分析

統合する論文の範囲を変化させたときの結論の変化の解析

結論の記述

結果の定量的表現

結果の視覚的表現

### 第13回 外来小児科EBM勉強会

〔開催日時〕

2001年10月20日（土）午後5時～8時

### 第14回 外来小児科EBM勉強会

〔開催日時〕

2001年11月17日（土）午後5時～8時

〔開催場所〕

社会保険中央総合病院会議室（3階）

東京都新宿区百人町 3-22-1

〔今回の学習内容〕

・演習テーマ（前回参加者が設定した）

熱性痙攣のあった子に（P）、その後の発熱時に抗痙攣剤を投与することは（E）、投与しない場合に比べて（C）、痙攣の回数や長期予後に好影響を与えるか（O）

・演習内容

座学でなく、演習をします

.....

絞込みの上で取り上げた38論文の批判的吟味

批判的吟味の方法の明記

内的妥当性（対照との比較の妥当性）

外的妥当性（他の論文との比較の可能性）

患者にとって有用な結果を指標にして比較検討しているか

副作用や費用なども比較検討しているか

データの抽出

データの統合

メタアナリシス

各臨床研究間の結果の均質性

統合に用いる統計的手法

感度分析

統合する論文の範囲を変化させたときの結論の変化の解析

結論の記述

結果の定量的表現

結果の視覚的表現

38論文の書誌は、メーリングリスト"Gairai-EBM"に、送信者渡辺博、送信日10月2日の8メール、および、送信者 Hirishi Watanabe、送信日10月7日の2メール、に載っています

批判的の吟味の当座の分担は、

論文 1、3、4 渡辺博

5 - 7 伊藤純子

8 - 10 古川裕

11 - 13 清水映二

14 - 16 横田俊一郎

17 - 19 加地はるみ

20 - 22 三輪操子

23 - 未定

## 第15回 外来小児科EBM勉強会

〔開催日時〕

2001年12月15日（土）午後5時～8時

## 第16回 外来小児科EBM勉強会

毎月1回土曜夕方に開催しています

〔開催日時〕

2002年1月26日（土）午後5時～8時

〔開催場所〕

社会保険中央総合病院会議室（3階）

東京都新宿区百人町 3-22-1

〔今回の学習内容〕

・演習テーマ（前回参加者が設定した）

熱性痙攣のあった子に（P）、その後の発熱時に抗痙攣剤を投与することは（E）、投与しない場合に比べて（C）、痙攣の回数や長期予後に好影響を与えるか（O）

・演習内容

以下の順に、第14回からの系統的レビューとメタアナリシスの演習の続きをやります  
.....

絞込みの上で取り上げた38論文の批判的吟味

批判的吟味の方法の明記

内的妥当性（対照との比較の妥当性）

外的妥当性（他の論文との比較の可能性）

患者にとって有用な結果を指標にして比較検討しているか

副作用や費用なども比較検討しているか

データの抽出

データの統合

メタアナリシス

各臨床研究間の結果の均質性

統合に用いる統計的手法

感度分析

統合する論文の範囲を変化させたときの結論の変化の解析

結論の記述

結果の定量的表現

結果の視覚的表現

38論文の書誌は、メーリングリスト"Gairai-EBM"に、送信者渡辺博、送信日10月2日の8メール、および、送信者 Hirishi Watanabe、送信日10月7日の2メール、に載っています

批判的の吟味の当座の分担は、

論文 1、3、4 渡辺 博

5－7 伊藤 純子

8－10 古川 裕

11－13 清水 映二

14－16 横田 俊一郎

17－19 加地 はるみ

20－22 三輪 操子

23－ 未定

**第17回 外来小児科EBM勉強会**

〔開催日時〕

2002年2月23日（土）午後5時～8時

**第18回 外来小児科EBM勉強会**

毎月1回土曜夕方に開催しています

〔開催日時〕

2002年3月30日(土) 午後5時～8時

〔開催場所〕

社会保険中央総合病院会議室(3階)

東京都新宿区百人町 3-22-1

〔今回の学習内容〕

・演習テーマ(前回参加者が設定した)

熱性痙攣のあった子に(P)、その後の発熱時に抗痙攣剤を投与することは(E)、投与しない場合に比べて(C)、痙攣の回数や長期予後に好影響を与えるか(O)

・演習内容

以下の順に、第14回から続けている、診療ガイドライン作成演習の続き

.....

上記演習テーマについて、系統的検索の上、取り上げた38論文のうちまだ終わっていない数論文の批判的吟味を終了し、その吟味結果に基づいてメタアナリシスを行い、ついで診療ガイドライン作成作業にとりかかる

絞込みの上で取り上げた38論文の批判的吟味

批判的吟味の方法の明記

内的妥当性(対照との比較の妥当性)

外的妥当性(他の論文との比較の可能性)

患者にとって有用な結果を指標にして比較検討しているか

副作用や費用なども比較検討しているか

データの抽出

データの統合

メタアナリシス

各臨床研究間の結果の均質性

統合に用いる統計的手法

感度分析

統合する論文の範囲を変化させたときの結論の変化の解析

結論の記述

結果の定量的表現

結果の視覚的表現

(参考)

38論文の書誌は、メーリングリスト"Gairai-EBM"に、送信者渡辺博、送信日10月2日の8メール、および、送信者 Hirishi Watanabe、送信日10月7日の2メール、に載っています

批判的吟味の当座の分担は、

論文 1、3、4 渡辺 博

5-7 伊藤 純子

8-10 古川 裕

11-13 清水 映二

14-16 横田 俊一郎

17-19 加地 はるみ

20-22 三輪 操子

23- 未定

### 第19回 外来小児科EBM勉強会

〔開催日時〕

2002年4月13日（土）午後5時～8時

### 第20回 外来小児科EBM勉強会

〔開催日時〕

2002年5月18日（土）午後5時～8時

### 第21回 外来小児科EBM勉強会

〔開催日時〕

2002年6月22日（土）午後5時～8時

〔開催場所〕

社会保険中央総合病院会議室（3階）

東京都新宿区百人町 3-22-1

〔今回の学習内容〕

・演習テーマ（前回参加者が設定した）

熱性痙攣のあった子に（P）、その後の発熱時に抗痙攣剤を投与することは（E）、投与しない場合に比べて（C）、痙攣の回数や長期予後に好影響を与えるか（O）

・演習内容

以下の順に、第14回から続けている、診療ガイドライン作成演習の続き  
今回は3名の方からガイドラインの草案が出される予定で、これを吟味する。  
.....

各論文データの統合

メタアナリシス

各臨床研究間の結果の均質性

統合に用いる統計的手法

感度分析

統合する論文の範囲を変化させたときの結論の変化の解析

結論の記述

結果の定量的表現

結果の視覚的表現

診療ガイドラインの作成

（参考）

38論文の書誌は、メーリングリスト"Gairai-EBM"に、送信者渡辺博、送信日10月2日の8メール、および、送信者 Hirishi Watanabe、送信日10月7日の2メール、 に載っています

批判的の吟味の当座の分担は、

論文 1、3、4 渡辺 博

- 5 - 7 伊藤 純子
- 8 - 10 古川 裕
- 11 - 13 清水 映二
- 14 - 16 横田 俊一郎
- 17 - 19 加地 はるみ
- 20 - 22 三輪 操子
- 23 - 未定

## 第 22 回 外来小児科 EBM 勉強会

EBM ( ; Evidence Based Medicine) の手法で外来小児科の診療ガイドラインを作るための勉強会です。

2000年10月から毎月1回土曜夕方に開催してきました「外来小児科 EBM 勉強会」は今月をもって終了します。

9月から「日本外来小児科学会診療ガイドライン作成会」に変身する予定です。

〔開催日時〕

2002年7月27日(土) 午後5時～8時

〔開催場所〕

社会保険中央総合病院会議室(3階)

東京都新宿区百人町 3-22-1

〔次回の開催予定〕

8月はお休みします

9月からは「日本外来小児科学会診療ガイドライン作成会」として開催します

9月の第1回会合の日時、場所は追って通知します

ほぼ毎月、土曜午後5時～8時に開催の予定です

社会保険中央総合病院会議室のほかに、ときどき大阪でも開催の予定です

〔今回の学習内容〕

・演習テーマ(前回参加者が設定した)

熱性痙攣のあった子に(P)、その後の発熱時に抗痙攣剤を投与することは(E)、投与しない場合に比べて(C)、痙攣の回数や長期予後に好影響を与えるか(O)

・演習内容

以下の順に、第14回から続けている、診療ガイドライン作成演習の続き

今回は伊藤純子、草刈章、宮田章子の3名の方からそれぞれ出されるガイドラインの草案を吟味する

.....

各論文データの統合

メタアナリシス

各臨床研究間の結果の均質性

統合に用いる統計的手法

感度分析

統合する論文の範囲を変化させたときの結論の変化の解析

## 結論の記述

結果の定量的表現

結果の視覚的表現

診療ガイドラインの作成

(参考)

38論文の書誌は、メーリングリスト"Gairai-EBM"に、送信者渡辺博、送信日10月2日の8メール、および、送信者 Hirishi Watanabe、送信日10月7日の2メール、 に載っています